



| | | |
|---------------|-------------|----|
| ファームウェアバージョン: | V2.15.004 | |
| ハードウェアバージョン: | DES-3810-28 | A1 |
| 発行日: | 2012/01/30 | |

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次:

| | |
|---------------------------|----|
| 変更履歴とシステム要件: | 2 |
| アップグレード手順: | 2 |
| PROMのアップグレード | 2 |
| CLIを使用したファームウェアアップグレード | 4 |
| Web-UIを使用したファームウェアアップグレード | 6 |
| 追加機能: | 9 |
| MIBおよびD-Viewモジュールの変更点: | 10 |
| コマンドラインインタフェースの変更点: | 11 |
| 修正した問題点: | 11 |
| 既知の問題: | 11 |

変更履歴とシステム要件:

| ファームウェアバージョン | リリース日付 | モデル | ハードウェアバージョン |
|-------------------------------------|------------|-------------|-------------|
| ランタイム: v2.15.004 Prom: v2.00.004 | 2012/01/30 | DES-3810-28 | A1 |

アップグレード手順:

アップグレードを行うには、[CLI\(シリアルポート\)を使用する](#)、もしくは[Web-UIを使用する](#)ことで、アップグレードを行うことができます。PROMコードのアップグレードは「[PROMのアップグレード](#)」の手順通り行って下さい。

PROMのアップグレード

1. スイッチの電源を切り、RS-232 シリアルポート(コンソールポート)で PC と接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。(本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。)

- ボーレート: **115200**
- データビット: **8**
- パリティ: **none**
- ストップビット: **1**
- フロー制御: **none**



2. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していて、かつシリアルポートに上記設定を施した PC と、本スイッチのシリアルポートを RS-232 DB-9 ケーブルで接続します。
3. TFTP サーバからファームのダウンロードが行えるように PC 上で TFTP サーバを有効にします。(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいください。)
4. スイッチに電源を入れ接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められますが、管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていないので「enter」キーを 2 回押し、ログインします。
5. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。
次ページの例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:

DES-3810-28:admin#download firmware_fromTFTP 10.90.90.10 src_file DES-3810_PROM_R200004.had

Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.10 src_file DES-3810_PROM_R200004.had

Connecting to server..... Done.

Download firmware..... Done. Do not power off!

Please wait, programming flash..... 100 %

Boot Procedure

V2.00.004

Power On Self Test 100%

MAC Address : 34-08-04-4A-DC-00

H/W Version : A1

Please Wait, Loading V2.00.009 Runtime Image 100 %

UART init 100 %

Device Discovery 100 %

Configuration Unit 100 %

6. PROM ファイルのアップグレードが完了すると、自動的に再起動し、PROM ファイルのアップグレードが完了します。

CLIを使用したファームウェアアップグレード

1. スイッチの電源を切り、RS-232 シリアルポート(コンソールポート)で PC と接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。(本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。)

- ボーレート: **115200**
- データビット: **8**
- パリティ: **none**
- ストップビット: **1**
- フロー制御: **none**

Tera Term: シリアルポート 設定

ポート(P): COM3

ボーレート(B): 115200

データ(D): 8 bit

パリティ(A): none

ストップ(S): 1 bit

フロー制御(F): none

送信遅延

0 ミリ秒/字(Q) 0 ミリ秒/行(L)

2. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していて、かつシリアルポートに上記設定を施した PC と、本スイッチのシリアルポートを RS-232 DB-9 ケーブルで接続し、更に PC とスイッチをネットワークケーブルで接続します。
3. TFTP サーバからファームのダウンロードが行えるように PC 上で TFTP サーバを有効にします。(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいください。)
4. スイッチに電源を入れ接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められますが、管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていないので「enter」キーを 2 回押し、ログインします。
5. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

| コマンド | 説明 |
|---|--------------------------|
| download [[firmware_fromTFTP cfg_fromTFTP] [<ipaddr> <ipv6addr>] src_file <path_filename 64> {dest_file <path_filename 64>}] | スイッチにファームウェアをダウンロードします。 |
| config firmware image <path_filename 64> boot_up | Boot up イメージファイルの変更をします。 |
| Dir | 現在のブートイメージと設定の情報を表示します。 |
| reboot | スイッチをリブートします。 |

次ページの例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:

```
DES-3810-28:admin#download firmware_fromTFTP 10.90.90.10 src_file DES-3810_FW_R215004.had dest_file
DESS3810_R215004.had
```

Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.10 src_file DES-3810_FW_R215004.had dest_file DESS3810_R215004.had

Connecting to server..... Done.

Download firmware..... Done. Do not power off!

Please wait, programming flash..... Done.

```
DES-3810-28:admin#config firmware image DESS3810_R215004.had boot_up
```

Command: config firmware image DESS3810_R215004.had boot_up

Success.

```
DES-3810-28:admin#dir
```

Command: dir

Directory of c:/:

| Idx | Info | Attr | Size | Update Time | Name |
|-----|--------|------|---------|---------------------|----------------------|
| 1 | RUN(*) | -rw- | 5959420 | 2000/01/19 04:54:37 | DESS3810_R215004.had |
| 2 | RUN(b) | -rw- | 5959420 | 2000/01/19 04:48:54 | runtime.had |
| 3 | CFG(*) | -rw- | 24977 | 2000/02/08 23:19:29 | config.cfg |
| 4 | | d--- | | 2000/01/19 03:13:31 | system |

30560 KB total (18800 KB free)

(*) -with boot up info

(b) -with backup info

```
DES-3810-28:admin#reboot
```

Command: reboot

Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y

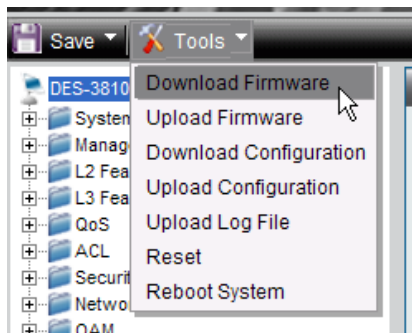
Please wait, the switch is rebooting...

注意: スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

上記のリブートが行われた後に、“show switch”コマンドを実行して、ファームウェアバージョンが正確に行われたことを確認してください。

Web-UIを使用したファームウェアアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいてください。)
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。管理者のユーザ名とパスワードを入力は、初期状態では登録されていないので「空白」でログインを行ってください。
5. スイッチのファームウェア更新を行うには、**Tools > Download Firmware** の順にクリックします。



6. 「Download Firmware」画面において、「Download Firmware From TFTP」を選択し、必要な情報を入力します。
 - TFTP Server IP: TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
 - File Name: TFTP サーバ上に保存したダウンロード済みのファームウェアファイル名を入力します
 - Image ID: ファームウェアを格納したい Image ID (1 もしくは 2) を選択します。

 A screenshot of the 'Download Firmware' web form. The 'Download Firmware From TFTP' radio button is selected. The form contains the following fields:

- TFTP Server IP: 10.90.90.10
- Source File: DES-3810_FW_R215004.had
- Destination File: c:/DESS3810_R215004.had

 The 'Download' button is at the bottom right, with a mouse cursor hovering over it.

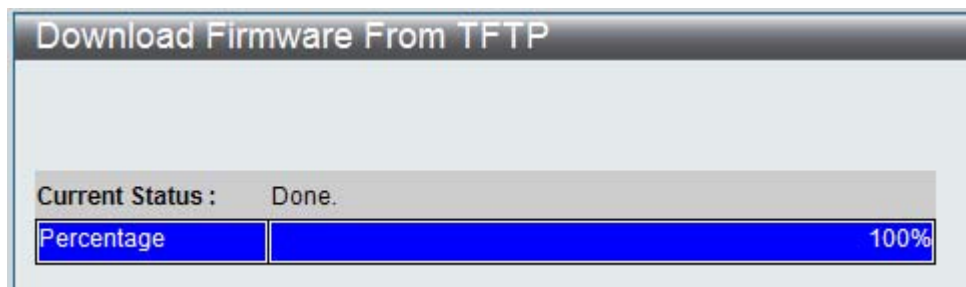
必要な情報を入力後、「Download」ボタンをクリックしてください。

7. 「Download」ボタンをクリックすると、ファームウェアのダウンロードが開始され、下記画面のように表示されます。

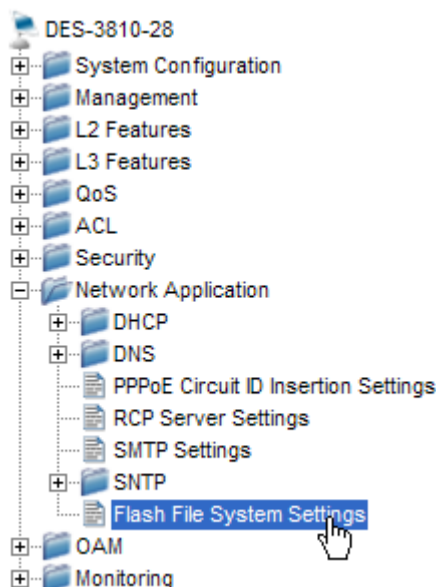
 A screenshot of the 'Download Firmware From TFTP' progress screen. It shows a progress bar and the following information:

- Current Status :
- Percentage: 6%

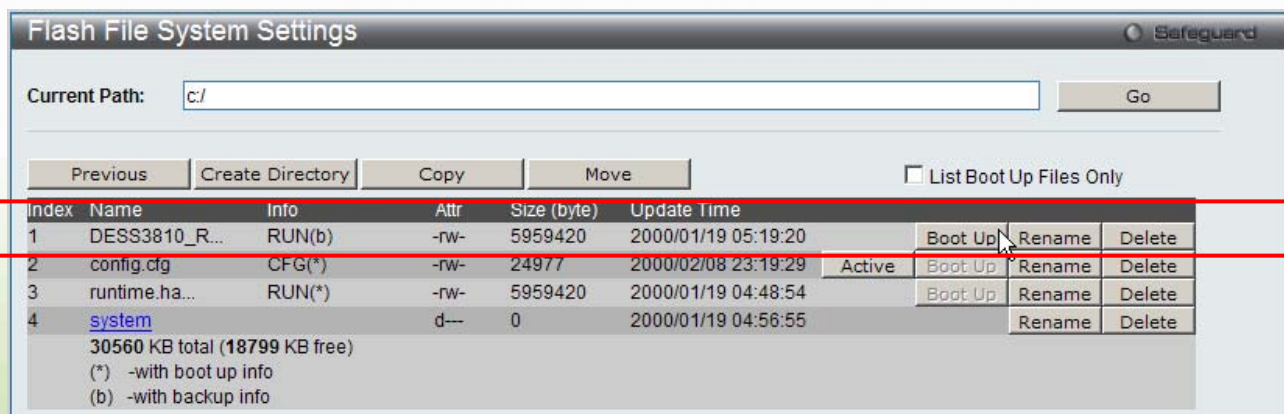
- File Transfer の値が 100%になり、Program Firmware のフィールドに”Completed”と表示されるまで待ちます。



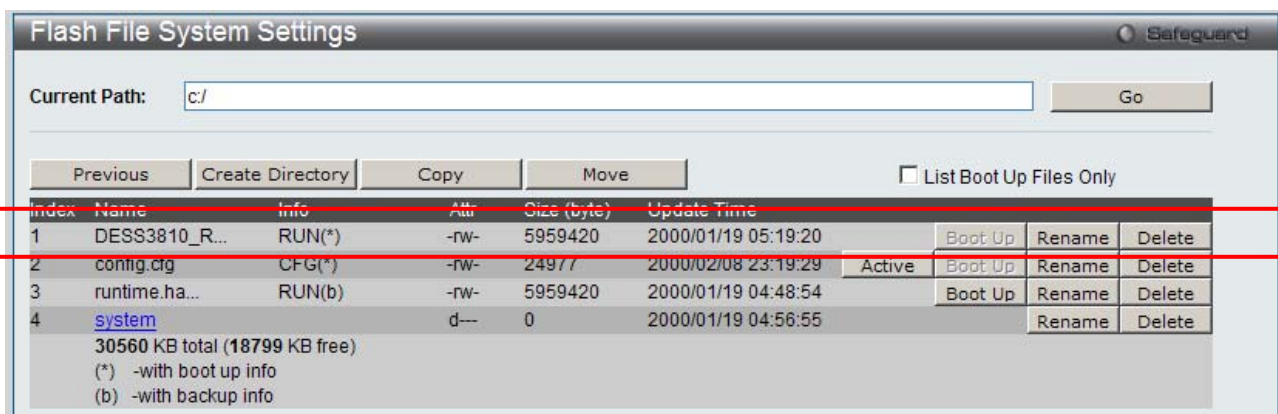
- 次回のスイッチリブート時にブートアップイメージとしてダウンロードしたイメージを選択する必要があります。**Network Application > FlashFile System Settings** の順にクリックし、ファームウェアがアップロードされたことを確認します。



- ダウンロードしたファームウェアが Boot up ファイルとして選択されていない場合は、「Boot UP」ボタンをクリックし、Boot UP ファイルとして、選択します。

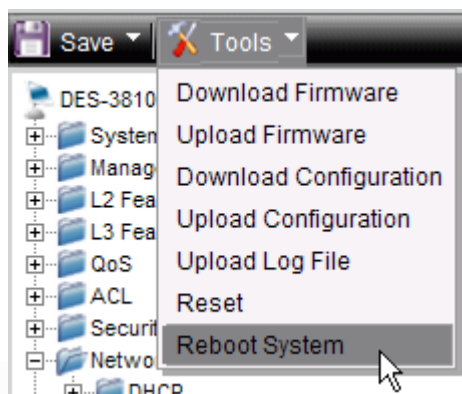


11. ブートアップイメージとして、登録が正常に終了すると、「Success!」とメッセージが表示されます。



※ はブートアップファイルをさしています。

12. スイッチのリブートを行なうために、Tools> Reboot System の順でクリックし、



13. 「Reboot System」画面で、「Do you want to save the settings?」で「Yes」を選択し、「Reboot」ボタンをクリックします。



注意: スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

追加機能:

| ファームウェアバージョン | 追加機能 | |
|--------------|------|---|
| V2.15.004 | SI | <ol style="list-style-type: none"> DES-3810-52 に対応致しました。 Y.1731 に対応致しました。 IGMP v1/v2/v3 に対応致しました。 PIM SM/DM/SDM 及び PIM SSM(Source-Specific Multicast)に対応致しました。 マルチプル Ring ERPS に対応致しました。 L2TP において MAC type: 01000CCCCCCC, 01000CCCCCCD に対応致しました。 ループバックインターフェイス(IPv4 のみ)に対応致しました。 IPv6 トンネリングに対応致しました。 OSPF ECMP を 8/ルートに拡張致しました。 IPv6 スタティックルートのルート優先設定に対応致しました。 DVMRP に対応致しました。 Egress ACL に対応致しました。 IMPB において IPv6 アドレスに対応致しました。 IPv6 ND スヌーピング/DHCPv6 スヌーピングに対応致しました。 RADIUS サーバにおいて IPv6 アドレスに対応致しました。 DULD (D-Link Unidirectional Link Detection)に対応致しました。 DHCPv6 リレーに対応致しました。 Microsoft NLB(IPv4 のみ)に対応致しました。 IPv6 Traceroute に対応致しました。 802.1X: 認証成功後の ACL 割当機能に対応致しました。 WEB ベースアクセスコントロール(ACL): 認証成功後の ACL 割当機能に対応致しました。 MAC ベースアクセスコントロール(MAC): RADIUS サーバから送信される属性に基づいて行うことができるセキュリティポリシーの割当機能に対応致しました。 D-Link Green 3.0 において、下記の機能に対応致しました。 -LED シャットオフによる省電力機能 -ポートシャットオフによる省電力機能 -システムの休止状態による省電力機能 下記の PROM のアップグレード機能を強化致しました。 -ファイルシステムのファイル名の長さを 32byte から 64byte へ拡張 -ファイル名を大文字と小文字を区別していたが、区別しないように変更 LBD 4.03 に対応致しました。(CLI のみ) |
| | EI | <ol style="list-style-type: none"> LDP(Label Distribution Protocol)機能に対応致しました。 MPLS L2 VPN(VPWS)機能に対応致しました。 SRM(Switch Resource Management)機能に対応致しました。 |

MIBおよびD-Viewモジュールの変更点:

MIB ファイルの追加機能は、対応する D-View モジュールにも実装されます。

| ファームウェアバージョン | MIB ファイル | 変更点 |
|--------------|--|---|
| v2.15.004 | L3mgmtDES3810-28.mib L3mgmtDES3810-52.mib | ループバックインタフェースに対応致しました。 |
| | IGMPv3.mib | IGMPv1/v2/v3 に対応致しました。 |
| | DVMRP.mib | DVMRP に対応致しました。 |
| | PIM-SM.mib RFC.2932.mib RFC-2934.mib | PIM-SM に対応致しました。 |
| | DULD.mib | DULD に対応致しました。 |
| | CFMEXTENSION.mib | Y.1731 に対応致しました。 |
| | RFC4087.mib | IPv6 トンネリングに対応致しました。 |
| | DHCPv6Relay.mib | DHCPv6 リレーに対応致しました。 |
| | NLB.mib | Microsoft NLB に対応致しました。 |
| | MPLS-LSR-STD-MIB.MIB MPLS-FTN-STD-MIB.MIB MPLS-LDP-STD-MIB.MIB MPLS-LDP-GENERIC-STD-MIB.MIB | MPLS ラベルマネージメントに対応致しました。 |
| | PW-STD-MIB.MIB PW-MPLS-STD-MIB.MIB PW-ENET-STD-MIB.MIB | MPLS L2 VPN(VPWS)に対応致しました。(EI 版のみ) |
| | EgressACL.mib | Egress ACL に対応致しました。 |
| | SwitchResourceMgmtDES3810-28.mib SwitchResourceMgmtDES3810-52.mib | SRM(Switch Resource Management)に対応致しました。 (EI 版のみ) |
| | erps.mib | ERPS 機能において最大4リング、160 ノード/リングまで 対応致しました。 |
| | L2ProtocolTunnel.mib | L2PT 機能においてプロトコル MAC タイプ: 01000CCCCCCC, 01000CCCCCCD に対応致しました。 |
| | RFC2925.mib | IPv6 TraceRoute に対応致しました。 |
| | IPMacBind.mib | IMPBv6、IPv6 ND スヌーピング/DHCPv6 スヌーピング機 能に対応致しました。 |

| | | |
|--|---------------|-----------------------------|
| | Auth.mib | IPv6 RADIUS サーバに対応致しました。 |
| | Equipment.mib | Green Ethernet3.0 に対応致しました。 |

コマンドラインインタフェースの変更点：

| ファームウェアバージョン | 変更点 |
|--------------|------|
| V2.15.004 | 特になし |

修正した問題点：

| ファームウェアバージョン | 修正した問題点 |
|--------------|---|
| V2.15.004 | <ol style="list-style-type: none"> STP ポートのステータスに関する問題を修正致しました。 IGMPv2 クエリに関する問題を修正致しました。 Android デバイスによる JWAC 認証に関する問題を修正致しました。 RADIUS 認証に関する問題を修正致しました。 全てのトラストホストを削除した場合に、Telnet のセッションが切れてしまう問題を修正致しました。 |

既知の問題：

| ファームウェアバージョン | 既知の問題 |
|--------------|-------|
| V2.15.004 | 特になし |

Copyright 2006-2012 D-link Japan K.K.